

17の目標169のターゲットがあるSDGs、何の略かわかる？

URALA

STYLE

6

LIFE CREATE
MAGAZINE
月刊ウラスタイル
June 2023
No.411



URALA Benefit
読者限定特典

誌面の情報をお得にGET!
お得クーポン付



“できることから”が大切。 はじめよう！ サステナブルふくい

古道具レスキュー

地産地消レストラン

ゴミが宝に変身。アップサイクル

“もったいない”は世界のあいことば。
フードロス削減



SDGs17の
目標に取り組む
サステナブル
先進企業

特集

長坂真護

サステナブルキャピタリズムのその先へ



日頃の行動と挑戦していることが、
結果として17すべての目標の実践に。



清川メッキ工業株式会社



「めっき教室」で化学への関心を向上させ、
社員のめっきへの理解や成長も期待。

1997年から始まっためっき教室。当初、社員家族へのめっき理解だったが、現在では理科(化学)離れの子どもやめっきに興味のある学生を対象に、年約10回実施。「人前で話したり教えるのは自らの理解が重要」との考えから技術部の若手社員を担当にし、人材育成も兼ねている。



「福井県理数グランプリ」のメダルを製作
努力する学生をより輝かせるのに。

「福井県理数グランプリ」の入賞メダル・トロフィーを製作・寄贈。社員発案で理数ならではのメダルをデザインし、「努力する学生の笑顔に繋げたい」という想いを込め製作。メダルを寄贈し始めてからは、大会への参加者数も増え、理数への学習意欲向上にも貢献している。



17時～翌9時の深夜電力を利用してスイートバジルやイタリアンパセリ、ディル、チャービルを栽培。昨年より工場内の照明もLEDに入れ替えた



ハーブ栽培から付加価値のある
商品アイテムを開発、販売。
幅広い働き方、雇用も重視。



フレッシュハーブの他、ドライハーブやバジルパウダー、石臼で挽いた越前塩を混ぜ込んだ「バ塩」、ハーブ使用のお菓子も好評。「越前塩 バジル&トマト塩」は、日本野菜ソムリエ協会主催の調味料選手権2022 塩部門で最優秀賞を受賞。



高齢者や障がいのある人を積極的に雇用。「工場内は温度が一定で快適です。種を植えたり、決められた仕事をしっかり行なっていくことがやる気につながり、働くことが楽しいと感じられる毎日です」とスタッフ

「おかげ様で著名なレストランや直売所、メーカー、市場への納入を継続中です。企業であれば利益を追求すべきですが、弊社としては企業として何が出来るのか、貢献できるのかも重要です。そう考えると自ずと、雇用の創出や環境を作る、増やすことができることが目標になり、結果としてSDGsの実践になっていくというわけです」
同社のSDGsの考え方は、「常日頃から実践していることが、結果としてSDGsになっている」。植物工場も然りである。今後、同社のさまざまなチャレンジから、新たなSDGsが生まれていくに違いない。

高年齢者の働き方を考えたなら、植物工場設立につながった。
何事に対しても「まずはやってみる」こと。諦めない気持ちや重視し、社員のチャレンジング精神を推進することで知られる研究開発型企業「清川メッキ」。SDGsも17すべての目標を実践中である。めっきとは縁遠いと思われる野菜工場「ピュアリーブジ」にも、同社の想いと技術が詰まっている。設立のきっかけを清川忠幸常務に聞いた。
「2013年、弊社50周年の時に高年齢社員の働き方を考えていました。一方、農業高校出身だった弊社社長(創業者)の農業への深い思いがあり、それが植物工場を実現させました。決められた作業の繰り返しと、緑(植物)からの癒しが高年齢社員に合ったようで、楽しんで働いている姿に嬉しく感じました。現在は、障がいのある方にも活躍していただいています」
栽培はハーブに特化。屋内栽培なので、天気に左右されず確実に継続して供給が可能。めっきの各種分析や検査技術を生かして安心安全、高品質ハーブを実現している。さらに、ハーブ関連アイテム(パウダーや塩、お菓子など)を作ることもできるなど、特徴はいくつもある。

これからの目標

**仕事でワクワクし、自身も成長。
だから今も未来も頑張っているし、
何事においても諦めない!**



本社/福井市和田中町1-414 ☎0776-23-2912
本社エリア(事務所、工場、化学技術研究所、ナノテクノロジー開発センター、先端技術開発センター、要素技術センター、ソリューションセンター)
森田工場/福井市石盛1-1702、1703
☎0776-23-2912 www.kiyokawa.co.jp/



求人情報はこちら